

# 租税教育実践レポート（書式）

## 親子で税を考える

高島町立屋代小学校教諭 6学年 山田 瑞基


実施年月日：令和7年4月，6月 19名

### 1 実践計画・指導のねらい

本校で使用している東京書籍 新編「新しい社会：政治・国際編」では、「単元名：わたしたちの生活と政治」において、日本国憲法の考えや日本の政治について捉える過程の中で、どのような税金があり、どのように使い道が決められていくのか学習する構成となっている。

そこで、授業参観において、模擬投票の取り組みを設定し、候補者を選ぶ際にそれぞれの候補者がどのような税金の使い道を考えているのか、親子で考えることができるようにした。

### 2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○），こどもたちの反応（●），使用教材等（□）
1	・日本国憲法の考えは、私たちの生活とどのように密接に関わっているのかを知る。	○ <u>日本国憲法の考えは、市町村や国の取り組みにどのように反映されているのか調べよう。</u> ● 税金を使って、教科書が無償で配られている。目の不自由な人のための表示や点字ブロックが整備されている。 □使用教材名 教科書 東京書籍「新編 新しい社会6 政治国際編」 社会科資料集
2	・模擬投票を通して、選挙の際、どのような観点から投票する候補者を選んでいけばよいのか考える。	○ <u>候補者が税金の使い道についてどのような公約を立てているのか考え、候補者を選ぼう。</u> ● みんなから集めた税金がどのように使われていくのか、しっかりと考えていくことが大切だと思った。 ● 選挙にしっかりと参加して、どの候補者に投票していくか考えることが大切だと思った。 □使用教材名 教科書 東京書籍「新編 新しい社会6 政治国際編」 社会科資料集 模擬投票グッズ 
3	・【租税教室】 税務署の方の話を聞きながら、適切な税金の使い道について考える。	○ <u>税金について、何にどれくらい使うべきか考えよう。</u> ● 住民の声に応じて、税金の使い道を考えていくことが大切だとわかった。 □使用教材名 税務署講師の方によるデジタル教材，DVD 1億円レプリカ
4	・税金について学習したことを振り返り、絵葉書を書く。	○ <u>学習したことを振り返り、絵葉書を書こう。</u> ● 税金の大切さを、分かりやすく絵にまとめた。 ● 深く自分たちの生活にかかわりがあることを伝える言葉を入れたい。

#### 【指導のポイント】《1時間目》

日本国憲法はどのようなものであるのかをまず学び、そうした考えが生活にどのように反映されているか捉えられるように、なるべく身近な例を取り上げた。

#### 【指導のポイント】《2時間目》

実際に投票に使用されている道具を高島町選挙管理委員会よりお借りした。また、授業参観でこの活動を設定し、保護者とともに、投票することで、税金の使い道や選挙について理解を深められるようにした。

#### 【指導のポイント】《3時間目》

事前に税務署の講師の方と打ち合わせを行った。デジタル教材を用いて、班ごとに考えを共有しながら、活動を行うことで、理解がより深まったようだった。



### 3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

- ◎ 実際に使用されているものを活用した模擬投票、さらには租税教室での税金の使い道について話し合う活動を通して、税金の大切さについて、実感を伴って学習することができた。また、授業参観の機会を活用し、保護者も巻き込んだ活動を行ったことで、より税金に対する理解が深まったと感じた。
- ◆ 教科書で調べたことを基に、実際に自分たちが住む地区や町では、どのように使われているのか調べさせるとなおよかった。時間と環境が整うのであれば、学校の外に出て税金が使われているものを調べたり施設を訪れたりできるとよかったと思う。